【声明】

現行の健康保険証を廃止してマイナンバーカードに一本化する政府方針に強く反対し、撤回を求める

2023 年 6 月 24 日
東京保健生活協同組合
理事長　根岸京田

6 月 2 日の参議院本会議でマイナンバー法等改正案が可決され、成立されました。
私たち東京保健生活協同組合は、現行の健康保険証の廃止とマイナンバーカードへの一本化に対し強く反対し、撤回を求めます。

国民皆保険制度の下、資格を有することを示す保険証を被保険者に届けることは、国・保険者の責務です。マイナンバーカードの取得は義務ではありません。マイナンバーカードがなければ保険証を申請できないというのはマイナ保険証の押し付けであり、このような制度は即時撤回すべきです。今まで何の問題もなく使用できている保険証を廃止し、本人の申請によるマイナ保険証への強制は国・保険者の責任放棄です。「国民の生存権」と「その実現のための国の責務」を明確に定めた憲法２５条の精神に著しく反すると言わざるを得ません。

マイナンバーカードの強引な推し進めにより、多くの個人情報の漏洩や対応の杜撰さが報道されています。別人の情報が紐づけされたケースが 7300 以上も報告されているにも関わらず、年金の受給口座の登録など今後ますます一元化を推し進めようとしています。
世論調査でも、マイナンバー制度や利用拡大に不安を感じる人は 71.6%（共同通信社）にも上っています。

また、今年５月に財政制度等審議会から出された建議には「負担能力の判断に当たっては、マイナンバーを活用しつつ」と明記されており、医療保険や介護保険の自己負担能力の判断にマイナンバーの活用を行うことを検討すべきとしています。これはマイナンバーに入れた個人情報を政府が勝手に流用することになります。このようなマイナンバーカードの本当の狙いにも警鐘を鳴らしていく必要があります。

現行の健康保険証を廃止してマイナンバーカードに一本化する政府方針に強く反対し、即時撤回を求めます。

ともうさ

2024年

来年の秋

ご存知ですか？

2024年の秋、現在の健康保険証が廃止されようとしています。マイナンバーカードを取得していないと医療を受けられない！そんなことになりかねません。

裏面でくわしくカイセツ！

全日本民主医療機関連合会
〒113-8465
東京都文京区湯島2-4-4　平和と労働センター7F
TEL:03-5842-6451　FAX:03-5842-6460

保険証廃止
そこまでやるか!?

保険証廃止を止めるため わたしたちは声をあげます！

医療を受けるために必須の健康保険証を
マイナンバーカードに結び付けることは
任意であるカードの取得を事実上強制するものです

Q1 保険証がなくなるの？

その危険が迫っています。
来年の秋、岸田政権は保険証を廃止して、マイナ保険証を強制しようとしています。

Q2 マイナ保険証って？

マイナンバーカードに保険証機能をもたせたものです。
医療を受けたいなら、マイナンバーカードを取得しろということです。

医療機関だって、マイナ保険証で設備費用や個人情報の取り扱いなど大変なことになるんです！

Q3 マイナ保険証だと何が困るの？

こんなリスクが！

落としてしまった
盗難にあった

再発行に時間がかかって病院を受診できない！

マイナンバーカードの取得が前提

強制ではなかったマイナンバーカードの取得を事実上強制するもの。たとえば、認知症でマイナンバーカードを取得できない人は？
保険証の廃止はこうした人を切り捨てるものです。

Q4 どうしたら保険証をまもれるの!?

みんなの声にかかってる！
国会に廃止反対の声を届けよう！
あなたも署名にご協力ください。

いのちに関わる保険証をなくさないで！

今の保険証でいいよね!?

え!?

ともうさ

健康保険証がマイナンバーカードに結びつけられ、任意であるはずのカードの取得が強制に。あんまりじゃないか！
健康保険証の廃止を中止・撤回させましょう！

健康保険証なくさないで!!

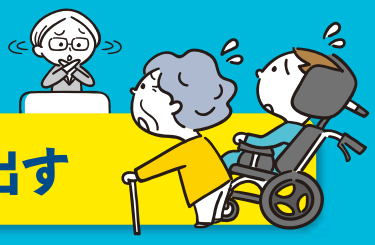
危険すぎる…

トラブル続き

情報漏えいの危険はもちろん、医療機関でのシステム障害も起こり得ます。カードを紛失したり、病院窓口で資格確認ができずに、医療費を全額負担させられた例もあります。

酷くない!?

無保険者を作り出す



カードを申請し、管理し、利用する―― 慣れてしまえば皆できる？　いいえ、障害者や高齢者はどうでしょう？申請できない人たちがいるのです。その方たちは制度から排除され、無保険状態になりかねません。

今からでも止められる

健康保険証廃止を中止・撤回することは国の責任でできること。新聞各社も社説で一致して「保険証廃止は反対」です。
2024年秋に実施させない声をあげましょう。

マイナンバーの活用に不安を感じている

72%

JNN世論調査
2023年6月

保険証の廃止は、私たちのいのちと健康にかかわる問題

署名にご協力ください！

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

現行の健康保険証を残してください 請願署名

年　　月　　日

請願趣旨

政府は2023年６月に、現行の健康保険証を2024年秋に廃止し、マイナンバーカードに一本化する法案を可決成立させました。

しかし、誤登録や情報漏えい、「資格無効」と表示される等、マイナンバーカードでの受診によるトラブルが続出し、多くの患者・国民が不安を抱えています。

また、健康保険証が廃止されれば、マイナンバーカードを持たない人は公的保険診療から遠ざけられる結果となりかねず、国民皆保険制度の下で守られている国民のいのちと健康が脅かされます。

国民も、患者も、医療機関も望んでいないマイナンバーカードとの一本化はただちにやめて、現行の健康保険証を残してください。

請願事項

一、現行の健康保険証を残してください

※氏名・住所の欄に「同上」「〃」は不可、住所は番地までご記入願います。

氏　名	住　所
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県

※この署名は、憲法16条で保障された請願権にもとづいて行うもので、国会請願以外の目的では使用しません。
※鉛筆や「文字が消せるボールペン」でのご記入はご遠慮ください。

私の
ひとこと

中央社保協・医療団体連絡会（全国保険医団体連合会・全日本民主医療機関連合会・日本医療福祉生活協同組合連合会・新医協・日本医療労働組合連合会）

取り扱い団体：全日本民主医療機関連合会